

平成 29 年度事業報告

定款第 3 条で本会の目的を「この法人は、札幌市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及振興を図るために必要な事業を行い、もって市民の心身の健全な発達と本道におけるスポーツの振興に寄与すること」とし、この目的を達成するため、定款第 4 条に定めた諸事業を実施した。

1 第 58 回札幌市民体育大会の開催

広く市民の間にスポーツの普及・振興・発展を促進し、健康の維持増進と文化生活の向上に寄与すると共に各競技団体における競技力向上を図ることを目的に開催した。

(1) 第 58 回札幌市民体育大会総合開会式

札幌市、札幌市議会、北海道体育協会、実施 53 競技団体代表者他、関係者により総合開会式を開催した。

*期 日：平成 29 年 5 月 30 日（火）

*会 場：札幌市教育文化会館 小ホール（中央区北 1 条西 13 丁目）

*参加者：役員・来賓 35 名 競技団体関係者 155 名 参加総数 190 名

(2) 第 58 回札幌市民体育大会開催経費補助事業（4,965,000 円）

各競技団体が実施する第 58 回札幌市民体育大会開催経費の一部補助を行った。

*実施数：53 競技実施。

*参加者数：26,919 名（選手・役員含む）

2 競技力向上普及促進事業

(1) 競技団体への補助金助成事業（11,177,000 円）

各競技団体が選手強化・育成や指導者の資質向上並びに各競技の普及促進を図ることを目的に実施した事業等の経費一部補助を行った。

①選手強化育成事業＝31 競技団体 59 事業（7,607,000 円）

②指導者育成事業＝11 競技団体 16 事業（1,048,000 円）

③普及促進講習会及び研修会開催事業＝16 競技団体 26 事業（1,572,000 円）

④スポーツ教室等開催事業＝11 競技団体 13 事業（950,000 円）

(2) スポーツ関連指導者セミナー開催事業

各加盟競技団体等において、競技力向上普及促進事業に携わる関係者が、スポーツ講座を通じ専門的な知識を学ぶとともに、資質の向上を図り、所属団体会員への知識の享受及び育成に寄与し、且つ関係者相互の理解と連携を深めることを目的として実施した。また、今年度は共通のメインテーマを「女性ジュニアアスリート指導について」に設定し、3つのカテゴリーに分け実施した。

①指導者セミナーvol.1 心理編

「成長期におけるこころの発達や心理サポートの事例、摂食障害の発見と早期の対応について」

*講 師：吉田聡美氏（コンディショニング・ラボ 代表）

*日 時：平成 29 年 11 月 17 日（金） 18:00～20:00

*会 場：札幌市中島体育センター 1 F 多目的室

*参加者数：9 名

②指導者セミナーvol.2 栄養編

「女性ジュニアアスリートにおこりやすい障害やウエイトコントロールに関する栄養・食事について」

*講 師：小松信隆氏（ウェルネスプランニング札幌 代表）

*日 時：平成 29 年 11 月 22 日（水） 18:00～20:00

*会 場：札幌市中島体育センター 1 F 会議室 B

*参加者数：2 名

③指導者セミナーvol.3 コンディショニング編

「女性ジュニアアスリートのコンディショニングを知ろう」

*講師：橋場晋也氏 (CoreCare 治療院 代表)

*日時：平成 29 年 11 月 28 日(火) 18:00~20:00

*会場：札幌市中島体育センター 1 F 会議室 B

*参加者数：4 名

(3) さっぽろアスリートサポート事業

若手スポーツ選手に対し、競技力向上を図るための支援を行い、スポーツのさまざまな分野で札幌から世界に羽ばたく選手の育成を図ることを目的として実施した。(10,528,741 円：事務費 3,075,708 円含)

【派遣サポート】

*派遣サポート A=1 競技団体 1 事業 1 名(264,400 円)

*派遣サポート B=12 競技団体 1 スポーツ少年団 28 事業 197 名(8,129,629 円)

【育成サポート】

*強化合宿=3 競技団体 7 事業 13 名(2,024,956 円)

*医科学等=1 競技団体 1 事業(50,600 円)

【測定サポート】

*2 競技団体 1 スポーツ少年団 3 事業(23,300 円)

【指導者育成サポート】

*1 競技団体 1 事業 1 名(35,856 円)

3 平成 29 年度競技力向上指導者講習会の開催

加盟競技団体等において、競技力向上普及促進に携わる関係者が一堂に会し、指導者育成及び指導者層の資質向上を図り、相互の理解と連携を深めることを目的として講習会を開催した。

*期 日：平成 30 年 2 月 14 日(火)

*会 場：札幌市中島体育センター 講堂

*講習内容：講義テーマ『アスリートと睡眠 ～睡眠とパフォーマンスの関係～』

講師 北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科教授 小田史郎氏

*参加者数：46 名

4 スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、スポーツ少年団組織育成及び各種事業を実施した。

(1) 登録事務

単位団=295 団(前年度比:+11) 団員=5,136 名(前年度比:-19) 指導者=1,068 名(前年度比:+6)

*北海道スポーツ少年団全体：173 市町村(前年度比:0) 単位団=1,980 団(前年度比:-17)

団員=39,260 名(前年度比:-377) 指導者=9,868 名(前年度比:-159)

(2) 受入事業

◇第 44 回日独スポーツ少年団同時交流受入(H29.7.26-8.5)

国際親善を深めるとともに本市のスポーツ少年団活動を活性化させ、併せてリーダーの育成・養成・研修の場となることを目的とし、ベルリン・ブランデンブルク州他ドイツスポーツ少年団の受け入れを行った。

受入期間中は野球・少林寺・ボウリングスポーツ少年団との交流及び札幌市近郊の文化探訪を行い、北海道スポーツ少年大会(帯広市)にも参加した。滞在期間中 6 泊は民泊(ホームステイ)を行った。

ドイツ団：指導者 1 名、団員 6 名 民泊家庭：7 家庭

協力スポーツ少年団：篠路キックベース(野球)、札幌あかしや(少林寺)、サッポロオリンピックボウリング(ボウリング)

(3) 派遣事業

◇第 47 回北海道スポーツ少年大会への派遣(H29. 7. 28-30/北海道 帯広市児童会館)

団員 6 名(篠路キック スネクス 6 名)、指導者 1 名

◇第 55 回全国スポーツ少年大会への派遣(H29. 7. 28-31/新潟県 妙高市文化ホール他)

団員 1 名(篠路キック スネクス)

◇日本スポーツ少年団ジュニア・リーダースクールへの派遣(H30. 3. 29-31/北海道 深川市総合体育館他)

団員 7 名(刈平アボウル 4 名・篠路キック スネクス 3 名)

◇日本スポーツ少年団シニア・リーダースクールへの派遣(H29. 8. 3-7/静岡県 国立中央青少年交流の家)

団員 1 名(篠路キック スネクス)

◇全道交流大会への派遣

①軟式野球：第 32 回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会(H29. 7. 15-17/旭川市 旭川ドリームスタジアム他)

篠路ライオンズ < トーナメント 1 回戦敗退 >

②バレーボール：第 15 回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会(H29. 11. 18-19/深川市 深川市総合体育館他)

男子=safilva 北海道ジュニア男子 < 優勝 >

札幌北野台タイフーンバレーボール※実行委員会推薦枠 < 3 位 >

女子=札幌北野台タイフーンバレーボール < 3 位 >

③剣道：第 32 回北海道スポーツ少年団剣道交流大会(H29. 11. 25-26/札幌市 北海道科学大学体育館)

団体戦=札幌選抜 A < 優勝 >、札幌選抜 B < 決勝トーナメント 1 回戦敗退 >

個人戦男子=豊島和生(真駒内少年剣道会) < 決勝トーナメント 1 回戦敗退 >

上原愛良(札幌龍心剣道) < 予選リーグ 敗退 >

個人戦女子=本田真穂(札幌剣心会) < 予選リーグ 敗退 >

福島瑞貴(若草スポーツ少年剣道部) < 3 位 >

◇全国大会への派遣

①バレーボール：第 15 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会(H30. 3. 25-28/群馬県 ALOSK ぐんま総合スポーツセンター他)

safilva 北海道ジュニア男子 < 予選リーグ 敗退 >

②剣道：第 40 回全国スポーツ少年団剣道交流大会(H30. 3. 25-27/東京都 東京武道館)

団体戦=札幌選抜 A < 予選リーグ 1 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退にてベスト 16 >

(4) リーダー育成

「平成 29 年度札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テスト」

*期 日：平成 29 年 12 月 2 日 (土)

*会 場：札幌市中島体育センター

*講習内容：小学校 4 年生以上の団員を対象に、リーダーとしての資質向上を目的とした講習を行った。

*参加者数：37 名

(5) 各種交流大会

◇軟式野球他 11 種目の交流大会・1 教室・1 協力事業を実施した。

①軟式野球(春季・秋季 計 3,800 名)、②サッカー(U-12・U-11・U-10 計 1,713 名)、

③剣道(交流戦・新人戦 計 1,519 名)、④ソフトテニス(56 名)、⑤空手道(109 名)、

⑥ミニバスケットボール(春季・秋季 計 3,831 名)、⑦バドミントン(交流戦・新人戦 計 282 名)、

⑧少林寺拳法(75 名)、⑨冬季スポーツ：アルペン(35 名) ジャンプ(74 名)、⑩綱引(116)、

⑪バレーボール(大会・教室 計 121 名)、⑫友遊キッズ(協力事業 約 3,300 名※保護者含む)

(6) 指導者育成事業

①「平成 29 年度スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会」

*期 日：平成 29 年 11 月 11 日 (土) ~12 日 (日)

*会 場：札幌市中島体育センター

*講習内容：日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、「スポーツリーダー」並びに日本スポーツ少年団指導者制度に基づき、「スポーツ少年団認定員」の養成を行った。

*参加者数：57名(他2科目受講4名)

②「平成29年度札幌市スポーツ少年団母集団研修会」

*期 日：平成30年2月3日(土)

*会 場：札幌市中島体育センター

*研修内容：情報提供「スポーツ安全保険について」

発表者：倉 隆久氏(スポーツ安全協会北海道支部事務局長)

情報提供「熱中症予防について」

講 師：坂井 昭氏(大塚製薬㈱札幌支店販売促進担当係長)

実践発表「シニアリーダースクールに参加して」

発表者：池田大夢さん(篠路キングスネークススポーツ少年団)

講義「実践スポーツ栄養学～パフォーマンス向上のための食べ方～」

講 師：小松信隆氏(㈱ウェルネスプランニング札幌代表取締役)

*参加者数：54名

(7)その他

①表彰

*「平成29年度日本スポーツ少年団顕彰」

指導者2名

*「平成29年度北海道スポーツ少年団表彰」

指導者2名、団体2単位団

*「平成29年度札幌市優良青少年及び青少年育成者表彰」

団体の部 新光サッカースポーツ少年団(サッカー/北区)

拓北サッカースポーツ少年団(サッカー/北区)

②各区本部との連絡調整

5 スポーツ団体への指導・支援

(1)各団体が行う事業に対し、要請に応じて、後援・協力をを行った。(※名義後援144件)

(2)加盟競技団体の要請に応じて、各種大会運営及び組織体制強化充実等について指導・助言を行った。

6 各種スポーツイベント等への協力・支援

・国際的・全国的・全道的・全市的な規模で行われる各種大会運営並びに組織体制充実等について支援・協力をを行った。(※関係14団体の要請により役職就任並びに大会やスポーツイベント等における役員就任等)

7 スポーツに関する情報提供、広報活動

広く市民をはじめ多くの方々にホームページを活用し、札幌市体育協会や加盟競技団体の情報又は、スポーツに関する幅広い情報を収集・提供した。

8 公益財団法人北海道体育協会との連絡協調

北海道体育協会評議員・理事等の就任。

評議員会=6/15 理事会=第1回5/31、第2回6/15、第3回9/6、第4回1/9、第5回3/16)

9 加盟団体理事長・事務担当者会議の開催

札幌市体育協会へ提出する関係書類の事務処理要領や手続きの説明を中心に、加盟団体相互の連絡融和と強化発展

を図ることを目的に開催した。

*日 時：平成30年3月6日（火）18:00～

*会 場：ホテルライフオーブ札幌

*参加者数：79名

10 日本スポーツマスターズ2018札幌大会

「日本スポーツマスターズ2018札幌大会」開催を1年後に控え、実行委員会が設立された。これに伴い、企画運営委員会も発足し、主催4者に加え、各実施団体から選出された委員や各関連団体が一堂に会し、開催に向け様々な協議を行った。

また、主催者負担金平成29年度分として100万円を実行委員会へ支出した。

(1) 会議出席

*実行委員会設立総会及び第1回総会 5/26

*企画運営委員会 第1回7/6、第2回10/24、第3回3/27

*主催4者担当者会議 4/17

*札幌大会開催に係る打合せ会議 4/27

*日本スポーツマスターズ委員会 6/2

*兵庫大会視察説明会 8/22

*日韓交流競技団体説明会 12/15

(2) 大会視察

*兵庫大会視察 9/15～17